

成果の説明書

(氏名) 福間 聡	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
A. 論文 “Should We Take Up the Slack?: Reflections on Non-ideal Theory in Ethics,” <i>Philosophia</i> , volume 50, pages 1825–1844 (2022) https://doi.org/10.1007/s11406-022-00536-6	
B. 国内研究発表 「ロールズを非理想化する——修正された第一原理の制度化に向けて」、第 72 回東北哲学学会 シンポジウム「現状に抗って——ロールズ、アーレント、ファウンディング・ファーザーズ」、東北大学川内南キャンパス、2022 年 10 月 22 日	
2 その他の事項	
C. 書評 ジェイソン・ブレナン著 (井上 彰ほか訳) 『アゲインスト・デモクラシー 上・下』、『週刊読書人』2022 年 11 月 18 日号	
3 次年度以降の計画・抱負	
「倫理学における非理想理論の構築—メタ・規範・応用倫理学の統一理論を目指して—」という課題が科学研究費（基盤研究（C））に採択されており、引き続き来年度も「非理想的な倫理理論とは何か」というテーマを軸に、研究・教育活動に邁進したい。	